

会 議 録

会 議 の 名 称	第 1 回弘前市高齢者福祉計画・介護保険事業計画審議会
開 催 年 月 日	令和 2 年 7 月 1 3 日 (月)
開 始 ・ 終 了 時 刻	1 4 時 0 0 分 から 1 5 時 3 0 分 まで
開 催 場 所	弘前市民会館 1 階 大会議室
議 長 等 の 氏 名	石澤 誠
出 席 者	会長 石澤 誠                      副会長 小川 幸裕 委員 相馬 渉                      委員 久保杉 嘉衛 委員 相馬 齋弼                    委員 阿保 博実 委員 三上 ナツエ                  委員 大湯 惠津子 委員 齋藤 拓                      委員 下田 肇
欠 席 者	委員 中畑 範彦                  委員 石山 明 委員 安田 昭弘
事 務 局 職 員 の 職 氏 名	福祉部長 番場 邦夫      介護福祉課長 工藤 繁志 介護福祉課長補佐 工藤 信康 介護福祉課長補佐兼自立・包括支援係長 相馬 延承 介護福祉課主幹兼介護認定係長 三上 礼興 介護福祉課介護給付係長 齋藤 和孝 介護福祉課介護保険料係長 小杉 国守 介護福祉課高齢福祉係長 藤岡 英貴 介護福祉課介護事業係主査 吉本 照幸
会 議 の 議 題	(1) 介護保険事業の実績について (2) 高齢者福祉事業の実績について (3) 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果について
会 議 の 結 果	下記会議録のとおり
会 議 資 料 の 名 称	資料 1 弘前市高齢者福祉計画・介護保険事業計画実績報告 2 弘前市介護予防・日常生活圏域ニーズ調査結果報告書

<p>会 議 内 容</p> <p>(発言者、 発言内容、 審議結果、 結論 等)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委嘱状交付</li> <li>3 市長挨拶</li> <li>4 会長及び副会長の選任</li> <li>5 案件</li> <li>6 その他</li> <li>7 閉会</li> </ol>
<p>(相馬(齋)委員)</p> <p>(副会長)</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 開会</li> <li>2 委嘱状交付</li> <li>3 市長挨拶 挨拶終了後、市長退席</li> <li>4 会長及び副会長の選任 委員の互選により会長には石澤委員、指名推薦にて副会長には小川委員が推薦され、異議なく承認された。</li> <li>5 案件 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 介護保険事業の実績について</li> <li>(2) 高齢者福祉事業の実績について</li> <li>(3) 「介護予防・日常生活圏域ニーズ調査」の結果について</li> </ul> (事務局より資料1について説明) <p>【以下 主な質疑応答】</p> <p>現在、老人クラブの会員が少なくなっているが、今後もう少し発展させたい。</p> <p>老人クラブの活動をするに当たって、書類の作成をもっと簡単に出来ないものか、また予算ももっと自由に使えないものか。</p> <p>老人クラブを必要と感じてもらえるように、もっとクラブ自体を魅力あるものにしたい。</p> <p>今回の第8期計画策定に当たって、これまでの第7期においてどのような地域包括ケア体制が構築されたのかということが分かると、今後こう言ったところを補充していきましょう、という話ができるのかなという感じがするので、何か資料等があれば提示してほしい</p> </li> </ol>

<p><b>(事務局)</b></p>	<p>い。</p> <p>また、「複合的な問題への対応可能な体制づくり」というのが分かりにくいので、弘前市においてどのような複合的な問題があるのかということ、イメージを持つ意味でも教えてほしい。</p> <p>いわゆる「8050問題」に加えて、障がいや虐待、引きこもりなど様々な問題が合わさって複合的になっている。そこに対して「断らない相談窓口体制」を作っていくべきということで、社会福祉関係の法律が改正されたり、国においても複雑な問題に対応できるように、市民があちこちに行かなくてもいいような相談体制づくりをしていくべきという話が進んできている。</p> <p>また、地域包括ケアに関して、地域の町会長や医療関係者を交えた「地域ケア会議」を開催して意見を聴取し、地域におけるネットワークを構築し課題解決に向けた取り組みを行っている。</p>
<p><b>(大湯委員)</b></p>	<p>高齢化が進み、民生委員の仕事も多くなっているの、包括支援センターなどと連携しながら活動していかなければならないが、それ以上に高齢化が進み、認知症の人も増えている。今後本人や家族が隠さずもっと周りの人に助けを求めていけるようになればもう少し住みやすくなると思う。</p>
<p><b>(阿保委員)</b></p>	<p>町会連の中でも老人クラブの会員が減少しているという問題に、今後もっと魅力ある老人クラブにしなければならないという意見が町会長の間から出ている。</p> <p>また、認知症の高齢者への対応についても、町会として民生委員の方々にも協力してもらっている。</p> <p>今後も町会連として、各町会ができるだけ協力できるような体制づくりをしていきたい。</p>
<p><b>(三上委員)</b></p>	<p>婦人会も以前は事業を通して地域活動を行っていたが現在は開催できなくなっている状態。今後は隣近所の高齢者との会話を大事にしていきたい。</p>

<p><b>(相馬(齋)委員)</b></p>	<p>地域包括支援センターをもっと宣伝して、高齢者が利用できるようにすればいいと思う。</p>
<p><b>(下田委員)</b></p>	<p>現在、新型コロナウイルス入所者、あるいは職員が発症すると「クラスター」という集団発生が起きるということで非常な社会問題になっているが、介護支援専門員の会議においてもそれに対するきちんとした治療、あるいは予防について家族にお知らせしている。また、専門員も日頃から勉強している。</p> <p>また、弘前市においては今、優良なケアプランを立てようということで一つ一つの内容について検討、調査している。今後も最も優れたケアプランができるように協力してやっていきたい。</p>
<p><b>(久保杉委員)</b></p>	<p>県としては、高齢者を孤立させないというのが第一にあるので、国が目指す「地域共生社会」の体制づくりに沿ったかたちで弘前市が抱える問題をどう解決していくかということ、計画に盛り込んでいけたらと考えている。</p>
<p><b>(齋藤委員)</b></p>	<p>「地域支援事業」について、計画値よりも実績がかなり下回っている要因は何か。</p> <p>また、「要介護認定の適正化」について、認定調査全体の内容を詳しく教えてほしい。</p>
<p><b>(事務局)</b></p>	<p>地域ケア会議は各包括が行っており、ケア会議を行うに当たってのスキルアップのための研修会開催をメインとして予算を盛ったが、実際そこまで費用が掛からなかった。</p> <p>認知症総合支援事業についても同様である。</p> <p>要介護認定の適正化に関しては、新規調査や区分変更の調査は市がケアマネージャーの有資格者を雇用し実施している。更新申請に関しては、基本的に申請代行した施設や、居宅のケアマネージャーにお願いしているが、全ての申請について引き続き調査するのではなく、調査員を入れ替えて調査している。</p>

<p><b>(会長)</b></p>	<p>ケアプランの作成にあたって、認定調査をお願いしてから調査員が来るまでが長くて、しびれを切らしているような状態である。</p>
<p><b>(副会長)</b></p>	<p>地域包括ケアとしては包括を中心に、というような議論になっているが、包括も現場職員が疲弊していると聞いている。包括に一極集中するような体制だと計画はなかなか難しいので、包括を支えられる資源等をもう少し出してもらえればいいと思う。</p>
<p><b>(事務局)</b></p>	<p>次回、8月の審議会で第8期計画の骨子的なところを示すということだが、それに加えて包括の現状についての資料を併せて提出したい。</p>
<p><b>(相馬(渉)委員)</b></p>	<p>生活支援事業が令和元年度から無くなったのはなぜか。</p>
<p><b>(事務局)</b></p>	<p>生活支援事業は65歳以上の方を対象としたヘルパーであったが平成29年度から開始した「総合事業」において開始した「生活支援サービス」へ切り替わる形で生活支援事業は終了している。</p> <p>同様に「生きがい対応型デイサービス事業」も事業対象を緩和したサービスということで「通所型サービスA」というのを市では「生きがい対応デイサービス」という形に切り替えたことにより、「生きがい対応型デイサービス事業」は実績が無いという形になっている。</p>
<p><b>(下田委員)</b></p>	<p>ニーズ調査の結果について、点数が非常に細かく分けてあるが、点数の基準を教えてください。</p>
<p><b>(事務局)</b></p>	<p>アンケートの設問において、「はい」、「いいえ」ではなく、大半の方が「ふつう」と答える傾向にあったのではと推測する。</p> <p>6 その他</p> <p>7 閉会</p> <p>次回(第2回)審議会は8月開催予定。</p>

<b>その他必要事項</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・会議は公開</li><li>・傍聴者数 5 名</li></ul>
----------------	--